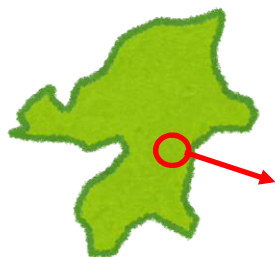


産地パワーアップ事業の取組事例(H29年度:計画作成主体:朝倉地域果樹産地協議会)

(福岡県)

取組の概要

対象品目 : いちじく「とよみつひめ」
(産地面積: 11.8ha)
主な取組主体 : 筑前あさくら農業協同組合
とよみつひめ部会
成果目標 : 販売額の10%以上の増加
基準(H28年度) 81.8万円/10a
目標(R元年度) 90.0万円/10a
導入施設等 : 生産支援事業(生産資材の導入)



福岡県
朝倉市
筑前町
東峰村



推進体制

地域の関係者(朝倉市、筑前町、東峰村、JA筑前あさくら、県)が一体となって事業を推進

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 県、市町と連携した広報、相談会、説明会等、多角的に新規栽培者を確保

〈県・市町村単独事業〉

- 「高収益型園芸産地育成事業」等を活用して、パッケージセンターや光殺菌装置を整備し、出荷調製労力の削減による経営規模拡大や、出荷後の腐敗防止による商品力強化を促進。

ポイント

【産地の課題及び取組方向】

降雨等による果実品質の低下が問題となっており、高品質果実の安定生産・出荷を行える環境を整備し、いちじく「とよみつひめ」の販売額の10%以上の増加を目指す。



【産地の体質強化に向けた方策】

降雨による果実品質低下を防ぐとともに、着色向上を図るため、簡易雨よけハウスや反射シートマルチの資材導入。

取組成果

【事業実施による直接効果】

簡易雨よけハウスにより降雨を遮断し、果実品質低下を防ぐとともに、反射シートマルチにより着色向上を図ることで、果実品質と出荷量が安定。

【事業実施による間接効果】

販売額の増加により、生産者の所得向上につながり、いちじく「とよみつひめ」の産地強化を実現。



**10aあたりの
販売額が40%増加
(達成率324%)**

~「とよみつひめ」の販売額~

